

目次/JALグループの情報体系

本レポートのほか、ステークホルダーの皆さまに向けてWebサイト、各種冊子などにも詳細情報を掲載していますので、ご参照ください。

JAL REPORT 2022 | 目次

Chapter 1 | はじめに

Our Purpose	3	Our Vision	7
Our Strength	5	トップメッセージ	9

Chapter 2 | 価値創造ストーリー

1. JALグループの価値創造ストーリー	15	(4) JALグループ行動規範	24
2. JALグループの価値創造プロセス	17	(5) コーポレート・ガバナンス	25
3. 価値創造の基盤	19	① コーポレート・ガバナンス体制	25
(1) 安全憲章	19	② マネジメント体制	27
(2) JALフィロソフィ	22	③ 社外取締役が語るJALグループ	33
(3) 部門別採算制度	23		

Chapter 3 | 中期経営計画

1. 戦略の全体像	37	(3) マイル・ライフ・インフラ	51
2. ESG戦略	41	① マイレージ・ライフスタイル領域	51
3. 事業戦略	43	② 地域領域	52
(1) 航空旅客	46	③ エアモビリティ領域	53
① 機材	46	④ 受託領域	54
② フルサービスキャリア(FSC)	47	(4) DX戦略	55
③ LCC	49	(5) 人財戦略	57
(2) 貨物郵便	50	4. 財務戦略	59

Chapter 4 | サステナビリティ

サステナビリティの取り組み ～社会課題への取り組み～	63	アクセシビリティの向上	93
主な取り組み項目と成果指標 (目標・実績)	65	感染症拡大の防止	94
環境	69	地域社会	95
気候変動への対応	70	路線ネットワーク拡充	95
限られた資源の有効利用	79	インバウンド誘致	95
環境汚染の予防	81	地域活性化	96
騒音の低減	81	移動・生活の利便性向上	97
生物多様性の保全	81	被災地への復興支援	97
人	83	社会貢献活動	98
人権の尊重	83	ガバナンス	99
人財育成	87	強固なリスクマネジメント (BCMの強化)	99
D&I推進	89	公正な事業行動の推進 (コンプライアンス)	101
ワークスタイル変革	91	情報開示	102
ウェルネス推進	91	責任ある調達活動の推進	103

Chapter 5 | データセクション

1. データハイライト	105	4. 財務データ	117
2. ESGデータ	107	財務状況と業績の評価および分析	119
3. 事業データ	111	5. その他データ	127
国際線ルートマップ	113	株式情報	127
国内線ルートマップ	115	会社情報	128
連結子会社一覧	116	社外からの主な評価	128

ここが知りたい

社会課題解決への**価値観**・**長期的な価値提供に向けた長期ビジョン** ■

競争優位を確保する上で**不可欠な強みや基盤** ■ ■

事業を通じた**長期的・持続的な価値創造のビジネスモデル** ■

長期的・持続的に**企業価値を向上させる方向に規律するコーポレート・ガバナンス** ■

戦略に影響を与える**外部環境、リスクと機会** ■ ■ ■

経営計画への**ESGの組み込み・ESG戦略** ■ ■

事業構造改革に向けた**ポートフォリオマネジメント** ■ ■

人的資本・知的財産を含む**無形資産(DX等)に関する投資戦略** ■ ■

リスク耐性強化と**資本効率を両立し、経営資源を戦略的に配分する財務戦略** ■ ■

サステナブルな**未来に向けた社会課題への取り組み** ■

取り組みの**成果を測る指標(KPI)と実績** ■ ■

その他の情報媒体

■ Webサイト



Webサイト内でも下記の詳細情報について  
 提示しています。

■ 企業理念・会社案内

- JALグループ企業理念
- JALフィロソフィ
- 会社概要
- JALの沿革
- コーポレート・ガバナンス
- 経営計画
- 組織概要

WEB <https://www.jal.com/ja/outline/>

■ 安全・品質

- 安全管理体制
- 安全・安心な社会を実現するための取り組み
- 品質への取り組み

WEB <https://www.jal.com/ja/flight/>

■ サステナビリティ

- サステナビリティ・マネジメント
- 統合報告書・主要ESGデータ
- JALグループのサステナビリティへの取り組み
- SDGs達成に向けた取り組み

WEB <https://www.jal.com/ja/sustainability/>

■ IR情報

- JALグループの事業・サービスについて
- 株価情報
- IRライブラリ
- 財務・業績ハイライト
- 主要事業データ
- 事業等のリスク

WEB <https://www.jal.com/ja/investor/>

■ その他情報媒体

- 安全報告書
- WEB <https://www.jal.com/ja/flight/report/>
- コーポレート・ガバナンス報告書
- WEB <https://www.jal.com/ja/outline/governance/>
- 有価証券報告書
- WEB <https://www.jal.com/ja/investor/library/group.html>
- 決算短信
- WEB <https://www.jal.com/ja/investor/library/information/>

編集方針

JALグループは、ステークホルダーの皆さまに、経済的価値と社会的価値の両立を追求し、持続的に成長する姿をご理解いただくため、前年度の事業活動の実績と今後の戦略をお伝えする「JAL REPORT 2022」を発行します。JAL REPORTは、Webサイトで幅広くお伝えしている財務情報・非財務情報の中から、JALグループの経営にとって特に重要な事項を掲載しています。

報告期間  
2021年4月～2022年3月(2021年度)を原則としています。

報告範囲  
日本航空株式会社、子会社144社および関連会社54社を合わせたJALグループ199社を対象としています。

参照ガイドライン  
国際統合報告評議会(IIRC)の「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省「価値協創ガイダンス」を参考にしています。また、ESG情報については、GRIの「GRIスタンダード」を参考にしています。



発行月  
2022年8月

JALWebサイト  
WEB <https://www.jal.com/ja/>

IR情報やサステナビリティ情報に加え、JALグループの思いや事業活動全般などを網羅的に紹介しています。

将来見通しについて  
本レポートには、JALグループの事業および展望に関する将来見通しが含まれています。これらは、既存の情報やさまざまな動向に関する当社による現時点での分析を反映しています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあり得ます。

商品・サービス・イベントなどについて  
本レポートに掲載している商品・サービス・イベントなどに関しては、状況により中止している場合があります。最新の情報は、当社Webサイトなどをご確認ください。

掲載写真について  
本レポート内掲載写真には、一部マスク未着用ものがありますが、撮影時のみマスクを外して撮影しています。

表紙について  
省燃費かつ低騒音、従来機と比較してCO<sub>2</sub>排出量を15%～25%程度削減できるエアバスA350型機。16機を導入した国内線に続き、2023年からは国際線にも順次導入を進める予定です。JALグループは航空会社にとって喫緊の課題であるCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組み、2050年までに「CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」を目指しています。

## Our Purpose

多くの人々やさまざまな物が自由に行き交う、  
心はずむ社会・未来を実現し、  
世界で一番選ばれ、愛される  
エアライングループを目指します。

### JALグループ企業理念

JALグループは、全社員の物心両面の幸福を追求し、

- 一、お客さまに最高のサービスを提供します。
- 一、企業価値を高め、社会の進歩発展に貢献します。

### 安全憲章 [抜粋]

安全とは、命を守ることであり、JALグループ存立の大前提です。  
私たちは、安全のプロフェッショナルとしての使命と責任をしっかりと  
胸に刻み、知識、技術、能力の限りを尽くし、一便一便の安全を確実に  
実現していきます。

# Our Strength

## 挑戦と革新を積み重ねて 培った3つの強み

1951年に日本で戦後初の民間航空会社として、日本航空株式会社が創業して70有余年。JALグループは高い目標を持って、日々地道な努力と創意工夫を繰り返しながら、お客さまとともに日本の空を開拓してきました。また、2010年の経営破綻、そして事故から得た教訓を全社員が学び、継承し、挑戦と革新を積み重ねています。

これにより構築された3つの強みは、将来にわたる持続的な成長を図る上でのJALグループの財産です。これからも、社員一人ひとりのベクトルを合わせ、3つの強みを活かして、JAL Vision 2030を実現していきます。

### 挑戦と革新を積み重ねた70年の軌跡

航空輸送を通じた社会の進歩発展への貢献

#### 運航・サービス

最高のサービスを実践し、  
経験を蓄積する



#### 教訓・学び

事故・事例から得た教訓を  
全社員が学び、継承する



#### 挑戦・革新

高い目標を持ち、日々地道な努力  
と創意工夫を重ねる

- 1951: 日本航空設立(旧会社)
- 1959: 「鶴丸」のロゴマーク誕生
- 1987: 完全民営化
- 2002: 日本航空と日本エアシステムが経営統合
- 2006: 安全啓発センターを設立
- 安全管理システム(SMS)を導入
- 2010: 会社更生手続き申し立て
- 路線ネットワークの再編、貨物専用機事業から撤退
- 2011: 新たな企業理念・JALフィロソフィを制定
- 部門別採算制度を導入・鶴丸ロゴ復活
- 2012: 東京証券取引所に再上場
- コーポレート・ガバナンスの基本方針を制定
- 2019: 安全憲章を改定・新たな行動規範を制定
- 2021: JAL Vision 2030を策定



### JALグループの3つの強み

#### 人財基盤

社員一人ひとりが  
プロフェッショナルとしての  
意識を持ち、  
JALグループの一員として  
一致団結して  
業務を遂行する中で  
蓄積された人財基盤

グループに集う一人ひとりの人財と、  
企業理念・JALフィロソフィをはじめと  
した方針・考え方、蓄積されたノウハウ・  
スキルなど

#### 顧客基盤

JALグループを  
ご利用いただいていた  
すべてのお客さまとの  
つながりからなる顧客基盤

マイレージプログラムや会員組織、蓄積  
されたデータ、これまでJALグループを  
ご利用いただいたすべてのお客さま  
とのつながり

#### 財務基盤

収益性を重視した  
着実・堅実な経営により  
構築した、  
世界の航空会社でも  
屈指の強固な財務基盤

JALグループの財務状況そのものと、  
経営資源の配分やコストマネジメント  
に関する厳格な規律、株主・投資家を  
はじめとするステークホルダーの皆さま  
とのつながり

# Our Vision

## 安全・安心

確かな安全と  
いつも心地よい安心を  
感じられる  
社会を創ります

# JAL Vision 2030

## サステナビリティ

誰もが  
豊かさと希望を  
感じられる  
未来を創ります



世界が大きく動き、社会の価値観が変化していく中、JALグループは、社会とグループにとって普遍的価値である「安全・安心」と「サステナビリティ」を未来への成長のエンジンとした「JAL Vision 2030」を今後のあるべき姿としています。

私たちJALグループは、これまでに培ってきた強みを原動力に、ステークホルダーの皆さまとともに「JAL Vision 2030」を実現します。